

社説

軍人の勢力果して大なるか

此頃世間の説を聞くに政府部内にては施政上不如意の原因を軍人の勢力に歸して例へば財政計畫の整理はざるも軍備擴張の一方に過大の經費を吸収せらるゝが爲めなり又臺灣總督府の官制に文官制度説の行はれざるも軍人の反對が爲めなり其他政府の施設に不如意の多きは孰れも軍人の故陣に由るもの少なからずとて竊に嘆息を洩らすものありと云ふ軍人をして駭か容れしむるは文明政治の本質に非ず若し實際の事實ならんには容易ならざる次第なれども果して眞實なるや否や日清戦争の結果は我國空前の大勝利にして軍人の功勞甚だ偉大なる其上に所謂戦後の經營を併する政府の仕事を見れば軍に軍備擴張の一事のみならず云ふも可なる程の始末に及ぶれば一般の人心も自から軍事の一方に傾て軍人の名譽甚だ盛なるが如しと雖も其勢力を政治上に及ぼして當局者をして不如意の嘆あらしむると云ふに至りては大に怪しまざるを得ざるなり或は戦争の最中、我軍連戦連勝、非常の功名を成したる當時に在りては我輩とても戦後軍人の舉動に就ては多少の嫉念を懷きたるもなきに非ず勿論、上長官以上の人物に於ては戦勝の威名に乗じて自から誇るが如き行爲なきは固より疑はざる所なれども下士卒の輩に至りては果して如何なる可きや勇氣勃々除隊歸休の後に戦地の氣風は容易に收まらず之に加ふるに軍夫として横行するが故に自から一般に血脈を風を吹かして田舎の地方などには或は暗探人殺等の出来事も多からんかどて聊か憐念したる次第なりしに實際は甚だ程にして更らに斯る沙汰を耳にしたるとなかりしは畢竟人文進歩の結果にして今の日本社會には最早軍人跋扈の心配なきを認む可し或は一般の有識は斯くの如しと雖も若し彼戦争に付き時に傑出したる將軍ありて戦勝の功名、全く其人物の一身に歸したりとせんか其功名を利用して政治上の勢力を博するも敢て難きに非ざれども實際に徴するに事の難易、地位の高下に應じて自から勳功の大小はあれども時に其中に傑出して全局の功名を一身に專らしたるものを見ず假りに戦争の最中に當り内の軍機に盡し若しくは外に軍團を統率したる長上官の中に死したるものありとするも作戦計畫の進行には毫も支障なかりしと云ふならん實際に果して然りとすれば時に傑出したる人物、一身に全局の功名を擔ふ可きものなりし證據にして此事實をとりも直さず我國の進歩を示すもの外ならず現に今の内閣員たる岸山高橋の二氏の如き戦功者中の餘々たるものにして時に岸山氏の威名は婦人小兒に至るまでも知らざるものなき程の次第なるにも拘はらず特に軍功に誇るもの色を見ず他の閣員に比較して特に勢力の著しきを認めざる現在の事實に徴するも軍人跋扈の爲めに政府をして何事、不如意を感せしむると云ふ其原因は果して何くに在るや我輩の認むるべきは其一方に經費を吸收せられたるが爲めに外ならずと云はんかなれども抑も其擴張計畫に就ては或は過大云々の説なきに非ざれども其事たる既に確定の事實のみならず今の日本の國勢に於て現在の軍備計畫を要するは國民の一般に認めて異議なき所に非ずや今更ら云々とは毫も解せざる所なり又臺灣の官制に付き文官制度説は軍人の反對の爲めに行はれずと云ふ軍人の異説は實際の事實ならんが如しと雖も當局者に果して定見あらんには自から責任を執て断行するに何の難きとある可きや我輩は其始末に就ては只政府の無定見を認むるのみ要するに國民の眼を以て見るときは毫も軍人跋扈の事實として認む可きものなきに然るに政府部内に於てのみ軍人云々の爲めに不如意に堪へざるを多しと云ふ其説解せざる所に於ては或は軍人云々に目を藉りて自家の無能無力を掩ひ以て結息を謀るものに非ざるが果して然らば自から責を免かれんが爲めに他に汚名を被するものにして政治家にあるまじき舉動なりと云ふ可し我輩の所見に於ては實際に軍人跋扈の實を認むるも能はざるものなれども政府の基礎甚だ薄弱にして政黨者流の強迫にも狼狽するが如き次第ならんには或は軍人に對しても漫に怨を懷き自から疑心暗鬼を生じて獨り自から畏縮するものなるや知る可らず斯の如きは沙汰の限りにして云ふに足らず軍人云々は自家の責任を盡したる上に於て始めて語る可きものなり

電報

日露米の海獸問題

倫敦十一月二日發

日露米三國の間に催されたる海獸問題會議は海上の海獸獵と一切停止するか又は有力なる制限と之に加ふることに一致せり

英佛の境界劃定會議

同 上

西都阿非利加に於ける英佛兩國領地の境界を劃定する爲め選任されたる兩國の委員は巴里に於て正式の第一回會議を開き

印度征討軍の捷報

同 上

セムラガの峡谷を陥れたるウイリアム・ロックスハート將軍は、些の損害を以て更にアーハンガ峡谷を奪ひ直して今はアフリチ地方に進軍中なり

北極探検者の搜索

同 上

扶桑艦異變後報 松山十一月一日午後特發 扶桑艦は到底浮上るべき見込なしとの説其當局者間に唱へ居れり

和泉外二艦 松山十一月一日午後特發 和泉、須磨、比叡の三艦は實彈演習の歸途昨夜津に投錨の筈なり

九州實業大會 鹿児島十一月一日午後特發 第三回九州實業大會は本日當地西本願寺に於て開會し佐賀縣知事其他各縣よりの來會者五千餘名に達し非常の盛況を呈したり

營業稅法委員會出席者 大阪十一月二日 東京、商業會議所の營業稅法委員會へは當地より土居、龜岡、濱田の三氏出席の筈なり又當地の商業會議所の意見として右の委員會へ稅法の修正案を提出すべき事に決定せり

大阪銀塊取引所許可せらる 大阪十一月二日 當地の銀塊取引所は去る廿九日附にて許可せられ來る八日頃委員會を開き夫より役員選舉を爲す筈なり

金貨引換額と金銀の輸出 神戸十一月一日 去る十月中當地に於ける金貨引換額は二百六萬六千二百三十圓にて内銀貨九十六萬三千二百六十圓、其他は兌換券なり又輸出せし金貨は百三十萬圓にて輸入の銀貨は十九萬二千四百圓なり

鐵道紡績會社開業式 九月十一日午後特發 鐵道紡績會社にては本日開業式を舉行し今明兩日間繼續を許す

機橋架設と工兵隊 門司十一月一日午後特發 廣島より工兵隊來り機橋架設に着手す

慶應義塾同窓會 廣島十一月一日午後特發 本日慶應義塾の同窓會を開き頗る盛會なり來會者は慶應義塾先生の高聲を三呼せり

和歌山縣下串本町の大火 和歌山十一月一日午後特發 縣下串本町串本町に大火ありて民家六十、學校一會社二、銀行二燬失せり

醫師聯合會 青森十一月一日午後特發 本日醫師聯合會にて本縣醫師の聯合會を開き午後閉會の都合なり

天長節祝賀式の見合 佐賀十一月二日午後特發 御發中に付き當地にては縣廳以下天長節の祝賀式を舉行せり

日本海軍の前途 (米國造船家クラムプ氏の説) 今日世界の文明國が海上權の擴張に熱心にして或は優勢の艦隊を組織し新式の軍艦を製造し或は技術の發達を謀り致々として此事に勉むるは世人の明に認むる所なれども一新國たる日本が此間に立ち驚く可き速度を以て其海上權を擴張し次第に先進國を凌駕せんとするの事實を知る者、其多からざる可し抑も日本の海軍は米國より鐵甲帶の軍艦を買入れたるに發し次で千八百六十四年テームズ工所に龍艦を注文し日清戦争の頃に至るまで年々多少の發達を見られたるも戦争の際に至りて海軍の實力如何と云ふに巡洋艦中井に砲艦中に新式のもの少なからざりし甲艦艦中

實用に堪ふるは那の軍艦七艘(一)の勢力頗る加はし其後漸に成千噸に上り殊に等國艦富士八本の海軍は六十十五艘の水雷艦の計畫なりと云ふれの國も之に匹は英國と雖も之に匹は進歩の二字を以て見ゆるるは日本の速力構造其他深く記憶す可きなら熱心なるは必も米國に非ず米國は日比布哇が米國に權利を享有するのの新開が此事に就米兩國の交誼をせしめざらんとの計畫は如何に存在し大洋の海軍を大太平洋の海軍たるものにして之を備ふるものにして又又かれざる可し又又問題とするも米國の干渉を拒絶し最も熱心に望むる點に在る可し現日て談話せる際日權利を其後餘餘の事變に當りてありと云へるも本海軍に對しては海軍の經歷并に準備其だ不充分に力を致さずと云ふを託すと云ふるの官設製船所を製造を託する利加之如き當然造船所を有せざるも然るに日本は製艦を英美獨備め以て精良の軍艦通ずるもの誰か本國の勝利を疑は此位置に達す